

事業報告（平成28年度）

1. 法人の概要

法人名 学校法人 静岡和洋学園

設置する学校と学科

静岡女子高等学校

全日制課程 普通科 家政科 商業科 福祉科

	学則定員	1年生	2年生	3年生	計
普通科	240人	52人	66人	44人	162人
家政科	120人	27人	29人	31人	87人
商業科	120人	38人	30人	31人	99人
福祉科	120人	23人	35人	31人	89人
計	600人	140人	160人	137人	437人

学科等の学則定員・学生数の状況（平成29年4月1日現在）

役員、教職員の概要等

理事長 1名

理事 7名

監事 2名

校長 1名（理事）

教頭 1名

教諭 24名 講師 25名 司書 1名

事務職員等 7名

2. 事業の概要

- （1）創立100周年に向けての準備を具体的に担当グループ別に動き出しました。
- （2）学校の伝統ある校歌を全生徒と教職員が愛校心と誇りを持って明るく爽やかに歌えるよう、プロの合唱団によるブラスバンドアレンジを活用しています。
- （3）震災時の生徒の安全確保を高める事を目的に「震災緊急地震速報デジタルなまず」を設置し、防災設備を追加しました。
- （4）体育の授業及び部活動の明るい環境作りと消費電力の削減を目的に、体育館の照明をLEDに交換しました。
- （5）生徒の学力向上、またはICT教育、進学・就職活動等に活用するため、新聞記事データベースシステムを3月より導入しました。

3. 財務の概要

<収入の部>

- (1) 学生生徒納付金収入はほぼ予算通りとなりましたが、H28年度の新入生入学者数は170名であり、全校生徒数の減少と退学者数の影響で、前年対比97.5% (△4,454千円) となりました。
- (2) 補助金収入も予算通りでしたが、静岡県からの経常費補助金は前年対比102.3% (+4,219千円) の増加、静岡市からは前年対比99.0%とほぼ前年並みでした。静岡県の私立学校経常費予算は前年対比102.7%ですので、本校の経常費前年対比はそれよりも下回っているため、生徒数の減少により実質経常費補助金はマイナス要素になっています。平成29年度は県の予算も厳しくなって来ており、生徒数減少の本校にとっては昨年より更に厳しい状況が懸念されます。
- (3) 雑収入につきましては、前年対比で△4,491千円となりました。これは退職金社団からの収入ですので、退職者が平成28年度は少なく、勤務歴も浅かったことが要因です。
- (4) 前受金収入は、前年対比88.2% (△3,286千円) と減少しています。平成29年度新入生140人の入学時納付金です。昨年より入学者が減少したのが大きく影響しています。

<支出の部>

- (1) 人件費は予算を大目に計上しましたので実績との差異は出ていますが、前年対比ですと、実質中身の教員の人件費は前年対比105.0% (+9,362千円) と大きく増加しています。これにつきましては、教員の待遇面での見直しを図りました。
- (2) 教育研究経費としては、毎年予算を大目に見積もっています。前年対比で突出する項目は修繕費です。体育館の照明をLEDに交換し、324万円を計上致しました。一方高熱水費が87.2% (△811千円) の減額となり、昨年に引き続き原油安の影響もありましたが、体育館の照明をLEDに変えたことにより電気代削減効果ははっきりと出ています。
授業料減免費も予算内ではありましたが、前年対比では、+881千円と増えています。これは減免の対象者が前年より増えたことによるものです。
- (3) 管理経費全体も無難な予算を組みましたので、差異は出ています。管理経費の中身としては、前年並みの水準でした。
- (4) 平成28年度の引当特定預金は、減価償却引当特定預金60,000千円、校地引当特定預金20,000千円、それぞれ繰り入れました。

生徒減少対策は、喫緊の課題ですが、平成30年の創立100周年に向けて、本校の特色を強力にアピールし、学生数の確実な確保と維持を実現し、「誠実」「温雅」「適応」の教育精神に則り、信頼ある校風作りが堅実経営の基本になって行くと考えます。